

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月7日

東

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所  
 コード番号 7264 URL http://www.muro.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,631	△32.7	△258	—	△80	—	△172	—
2020年3月期第1四半期	5,398	4.1	391	△37.8	345	△53.6	230	△57.1

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △307百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 291百万円( △5.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△28.52	—
2020年3月期第1四半期	37.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,094	16,305	67.7
2020年3月期	23,784	16,745	70.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 16,305百万円 2020年3月期 16,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,602	△29.4	△467	—	△261	—	△338	—	△56.04
通期	17,196	△19.6	△70	—	348	△75.1	62	△92.7	10.29

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、 除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,546,200株	2020年3月期	6,546,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	504,034株	2020年3月期	504,034株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,042,166株	2020年3月期1Q	6,108,627株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中国武漢から世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響を受け、まさに未曾有の落ち込みとなりました。海外の第1四半期に当たる1～3月期は感染が中国で拡大し世界に広がり始めた段階で被害も比較的限られていましたが、日本の第1四半期に当たる4～6月期になると感染の中心が世界各地に移って行き、大きな被害をもたらしました。こうした状況の中、5月頃までは世界各地で都市封鎖等の感染拡大防止を第一とした政策が取られ一定の成果を上げましたが、世界中で深刻な需要消失をもたらし、経済は疲弊しました。対策として各国政府は給付金等の支給を大々的に行いましたが、これにより一気に各国の政府債務残高が膨らみました。これを受け、各国は経済を回すために行動規制緩和に舵を切りましたが、これにより世界各地で感染が拡大し、危機的な状況となっております。

我国においても4月7日に緊急事態宣言が発令され5月25日に解除されるまで、感染拡大防止を最優先した政策が取られました。一方で、政府や地方自治体は給付金支給等の財政出動を行い、財政が一気に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、我国政府も他国同様経済を回すための行動規制緩和を進め、これに伴い感染は再び拡大しはじめ、こちらも危機的な状況となってきております。

このように世界各国にしても日本にしても、一定レベルの経済活動を続けながら新型コロナウイルスの感染拡大を防止することはほとんど不可能に近いと思われ、ワクチンや特効薬が開発されて普及するまでは感染拡大が続くのではないかと考えます。

このような状況の中、当社グループの主要取引先であります自動車業界では世界各地で行われた都市封鎖や外出自粛等により需要が消失し、長期の工場稼働停止や生産調整を余儀なくされ、生産・販売共に大きく落ち込みました。これを受けての当社グループの当第1四半期連結累計期間における連結売上高も大きく減少し、3,631百万円（前年同期比32.7%減）となりました。売上の大幅な減少に伴い、営業損失は258百万円（前年同期は391百万円の営業利益）、経常損失は80百万円（前年同期は345百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は172百万円（前年同期は230百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 金属関連部品

当第1四半期連結累計期間におきましては、海外子会社は新型コロナウイルス感染拡大初期の1～3月に当たり各社の売上の減少幅も10%以下程度となりましたが、国内では感染拡大に伴う行動規制強化時期の4～6月期に当たったため売上が大きく減少しました。結果、当事業の売上高は3,147百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

#### ② 樹脂関連部品

当第1四半期連結累計期間におきましては、自動車関連需要が落ち込み、売上は大きく減少しました。結果、当事業の売上高は300百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

#### ③ その他

当第1四半期連結累計期間におきましては、海外は各国のロックダウン措置の影響等により欧州と米国で売上が大きく減少しました。国内は期初からの緊急事態宣言による移動制限と経済停滞により売上が大きく減少しました。結果、その他事業の売上高は184百万円（前年同期比29.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

総資産は、前連結会計年度末に比べ309百万円増加し、24,094百万円となりました。主な増加は現金及び預金1,682百万円、流動資産のその他105百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金751百万円、電子記録債権373百万円、有形固定251百万円であります。

## (負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ749百万円増加し、7,788百万円となりました。主な増加は短期借入金1,889百万円、流動負債のその他404百万円であり、主な減少は支払手形及び買掛金260百万円、電子記録債務498百万円、1年内返済予定の長期借入金180百万円、未払金123百万円、賞与引当金388百万円であります。

## (純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ440百万円減少し、16,305百万円となりました。主な増加はその他有価証券評価差額金46百万円であり、主な減少は親会社株主に帰属する四半期純損失172百万円、剰余金の配当金132百万円、為替換算調整勘定195百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は67.7%（前連結会計年度は70.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により合理的な算定が困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき連結業績予想を算定いたしましたので、公表いたします。

2021年3月期第2四半期連結累計期間における連結売上高は7,602百万円、営業損失は△467百万円、経常損失は△261百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は△338百万円を想定しております。第2四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けての取引先各社の稼働停止や減産が大きな減収減益要因となっております。

2021年3月期通期連結累計期間における連結売上高は17,196百万円、営業損失は△70百万円、経常利益は348百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は62百万円を想定しております。通期連結累計期間につきましては、取引先各社の稼働再開により第2四半期以降の回復を見込んでおります。但し、本予測は現在想定しております取引先各社の稼働が実現されることを前提に算定しております。

なお、為替レートは、1USドル105円を想定しております。

配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により業績予想の合理的な算出が困難であることから未定としておりましたが、2021年3月期業績予想の公表に合わせて公表いたします。当社の配当の基本方針であります長期安定的配当の維持と株主の皆様のご期待にお応えする観点より、経営的には非常に厳しい環境ではございますが、前期同様中間配当金22円、期末配当金22円、合わせて年間配当金44円といたしたいと考えております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,614,137	7,296,591
受取手形及び売掛金	2,850,223	2,098,947
電子記録債権	1,622,411	1,248,995
有価証券	542,621	538,661
商品及び製品	716,243	710,047
仕掛品	401,250	386,959
原材料及び貯蔵品	365,860	330,390
その他	259,291	365,204
流動資産合計	12,372,039	12,975,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,976,531	6,919,949
減価償却累計額	△4,241,372	△4,247,389
建物及び構築物(純額)	2,735,158	2,672,559
機械装置及び運搬具	13,762,013	13,753,488
減価償却累計額	△10,920,519	△11,023,521
機械装置及び運搬具(純額)	2,841,493	2,729,967
土地	1,490,537	1,435,177
建設仮勘定	372,670	372,572
その他	5,882,903	5,901,851
減価償却累計額	△5,424,832	△5,465,688
その他(純額)	458,070	436,162
有形固定資産合計	7,897,930	7,646,438
無形固定資産		
のれん	100,418	94,142
その他	181,575	182,296
無形固定資産合計	281,994	276,438
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004,229	1,961,721
長期貸付金	499	9,008
繰延税金資産	301,141	296,839
その他	931,052	932,063
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,232,642	3,195,353
固定資産合計	11,412,567	11,118,231
資産合計	23,784,607	24,094,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,015,921	754,967
電子記録債務	2,210,744	1,712,367
短期借入金	635,356	2,525,000
1年内償還予定の社債	110,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	221,845	41,550
未払金	541,403	417,605
未払法人税等	139,893	138,398
賞与引当金	615,066	226,428
役員賞与引当金	47,770	11,282
その他	841,141	1,245,141
流動負債合計	6,379,144	7,182,741
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	43,384	26,129
繰延税金負債	7,214	7,427
役員退職慰労引当金	21,871	20,073
退職給付に係る負債	266,655	256,291
その他	300,654	275,963
固定負債合計	659,779	605,886
負債合計	7,038,923	7,788,627
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	15,162,724	14,857,416
自己株式	△395,351	△395,351
株主資本合計	16,766,759	16,461,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249,905	296,565
為替換算調整勘定	△127,438	△323,302
退職給付に係る調整累計額	△143,543	△129,314
その他の包括利益累計額合計	△21,076	△156,051
純資産合計	16,745,683	16,305,400
負債純資産合計	23,784,607	24,094,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,398,221	3,631,967
売上原価	4,311,683	3,321,442
売上総利益	1,086,537	310,524
販売費及び一般管理費	695,115	568,826
営業利益又は営業損失(△)	391,422	△258,301
営業外収益		
受取利息	19,940	12,514
受取配当金	4,570	5,456
太陽光売電収入	4,088	4,009
補助金収入	—	143,123
為替差益	—	2,111
その他	18,135	16,679
営業外収益合計	46,734	183,895
営業外費用		
支払利息	2,841	2,892
減価償却費	1,360	1,200
為替差損	87,935	—
その他	758	1,556
営業外費用合計	92,896	5,649
経常利益又は経常損失(△)	345,260	△80,056
特別利益		
固定資産売却益	699	494
貸倒引当金戻入額	3,353	—
特別利益合計	4,053	494
特別損失		
固定資産除却損	1,883	0
特別損失合計	1,883	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	347,430	△79,561
法人税、住民税及び事業税	209,937	53,665
過年度法人税等	—	60,804
法人税等調整額	△93,447	△21,651
法人税等合計	116,489	92,818
四半期純利益又は四半期純損失(△)	230,941	△172,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	230,941	△172,380



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	230,941	△172,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,248	46,660
為替換算調整勘定	20,970	△195,864
退職給付に係る調整額	5,516	14,229
その他の包括利益合計	60,735	△134,975
四半期包括利益	291,676	△307,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,676	△307,355
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	4,622,614	514,871	5,137,486	260,734	5,398,221	—	5,398,221
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,622,614	514,871	5,137,486	260,734	5,398,221	—	5,398,221
セグメント 利益	536,001	17,445	553,446	44,018	597,464	△206,042	391,422

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額△206,042千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

樹脂関連部品事業等セグメントにおいて、前第1四半期連結会計期間より、イガリホールディングス株式会社の株式を取得しました。

なお、現物配当等により、孫会社いがり産業株式会社のイガリホールディングス株式会社が保有する全株式を取得し、いがり産業株式会社は当社の直接保有の子会社に該当することになりましたので連結の範囲に含めておりません。

これにより、当該事象によるのれんの発生額は125,523千円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	3,147,421	300,024	3,447,445	184,521	3,631,967	—	3,631,967
セグメント間の内 部売上高 又は振替 高	—	2,945	2,945	—	2,945	△2,945	—
計	3,147,421	302,969	3,450,390	184,521	3,634,912	△2,945	3,631,967
セグメント 利益又はセ グメント損 失(△)	△91,877	△53,217	△145,095	38,664	△106,431	△151,870	△258,301

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△151,870千円には、セグメント間取引消去△2,945千円、報告セグメントに配分していない全社費用△148,925千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。